

課題 5 : Le wallon latin venu à pied du fond des âges

ワロン語よ、フランス語の単語の貯蔵庫、趣をもち澁刺としたことば

ワロン語よ、その途切れなき言葉の耕地、決して自らを過大評価しない精神、しかしその精神はスノップ気取りが奴らの偉大さの高みから、学者の演説のような厳密で冷然とした言語で見下される

もしルイ 14 世がナミュールに居を構えていたなら、フランス全土はナミュールのワロン語を話していただろう

フランス語は、成功した方言、言語のヒットパレードで人気を取った方言、その上に自分自身を守らなければ、ついには英語に食われてしまうであろう方言だ

一曲の歌なんて些細なものだが、それでも言語のために何かを成し得る

ワロン語は、私たちの母親、故郷の村における私

たちの最初の友から伝わる、素朴で甘美な言葉だ

それは美しき話し方の欠点を補い、辞書が使い物にならない時でも機知に富んだ言葉をいつも有する言葉だ

ワロン語は、その様々な違いにおいて、ユニフォームを着ることも、型通りにコピーになることも拒否する各地域の独自性だ

それは火打石と同じくらいに古い、ある種の考え方だ

ワロン語、それは遙か昔から歩いてきたラテン語だ